

「人・農地プラン」実質化に向けた島根県江津市の取り組み

1. 既存の人・農地プランの検証による課題の明確化

現状1：市と関係機関・団体との連携が不十分
 現状2：現況把握のため市内農業者約1,200名にアンケートを郵送で行ったが回答率が低調（回答率約23%）
 現状3：結果として旧市町を範囲とした**広域の人・農地プラン**となった

課題1：地域の話し合いの範囲が不明確となり、活動が低調になるとともに、市や関係機関・団体のきめ細やかなフォローアップが困難となった
 課題2：支援策や補助事業のための**人・農地プラン**の性格が強くなってしまった

2. 過去の課題を踏まえた実質化への取り組み

江津市人・農地プラン推進チームの設置（令和元年10月）と構成機関の役割の明確化
 江津市：事業実施主体、プランの最終チェック等
 江津市農業委員会：話し合いの活性化、地図情報の提供等
 しまね農業振興公社：農地集積・集約化の支援、機構関連支援（農地中間管理機構）策の活用等
 ※JA、島根県、土地改良区等の参画については、集落のアンケート結果・ニーズ等を踏まえて要請

推進チームにおいて、人・農地プランの作成・話し合いの単位を設定するための基本の方針を決定
 ①ほ場整備を実施した地域
 ②日本型直接支払制度の対象農地（中山間直接支払交付金、多面的機能支払交付金）
 ③その他**守るべき農地**

江津市農業委員・農地利用最適化推進委員へのヒアリング等を踏まえ設定（市資料1-2）し、地区の状況に応じたスケジュールを設定
 併せて**集落代表者によるアンケートの配布・回収**を行う方針の決定

実質化に取り組むに当たっても更なる課題が・・・
 ○過去の取り組みが低調だったこともあり、**集落代表者の人・農地プランに対する認識が極めて低い**
 ○**農業委員・農地利用最適化推進委員の実質化の取り組みに対する認識が不十分**
 ○実質化の取り組みに対する**市の本気度**を理解してもらう必要がある

集落代表者、農業委員、農地利用最適化推進委員を対象とした説明会の開催を決定

3. 説明会開催に向けた条件整備

実質化に取り組むに当たっての課題を解決するためには**人・農地プランの趣旨・実質化の具体的内容、取り組みの重要性**を参加者に正確に伝える必要がある。そのためには国の担当者から直接説明してもらうことが効果的。市の本気度を理解してもらうためにも国の担当者の出席が必要

島根県拠点との意見交換の際に**農政局担当者**の派遣を要請

島根県拠点からの要請を受け、**農政局**が担当者の派遣を決定

4. 人・農地プランの実質化に向けた説明会の開催（令和元年12月4日）

各機関・団体の役割に応じた説明を実施

農政局
 パンフレット等の資料を活用し、**人・農地プランの趣旨と作成手順、実質化の具体的内容と取り組みの重要性**を説明

人・農地プランの趣旨・実質化の取り組み内容と重要性に対する理解が深まった

島根県拠点
 江津市の将来人口の推計と農業就業者の推移の資料を提示し、**5年後、10年後の状況**を見える化

実質化の取り組みの緊急性が理解された

江津市
 市資料1-1、1-2により江津市の**取り組み体制、今後のスケジュール、当面の具体的な取り組み**を説明
 併せて**アンケート様式**を提示し、**各項目の必要性**を説明

今後の方向性、アンケートの重要性、参加者が当面何をすべきかが理解された

しまね農業振興公社（農地中間管理機構）
 農地中間管理事業の概要と支援措置等について説明

実質化後の**農地集積・集約の支援機関として機構の役割**が理解された

人・農地プラン集落相談会（12月5日）の開催
 市内4カ所に会場を設け、詳細な地区の地図をもとに集落代表者と推進チームによる**集落の話し合い、アンケート実施に向けた作戦会議**を実施
 ○集落の話し合いのエリアと農地、農業者の状況等を確認
 ○アンケート調査の具体的な実施について協議
 ○作戦会議終了後、集落代表者はアンケート用紙を持ち帰り配布

（参考）令和2年1月末現在、アンケート回収率が70%以上となった

江津市の人・農地プランの実質化 に向けた進め方について

令和元年12月4日
江津市農林水産課

1

本日説明させていただく内容

- 1 現状の人・農地プランについて
- 2 令和元年度人・農地プランの実質化の進め方
- 3 人・農地プランの推進にあたって

2

1 現状の人・農地プランについて

(1) 人・農地プランについて(作成日:平成30年9月27日)

プラン地区名	中心経営体(※1)			中心経営体への集積率	農用地面積(ha)	集積目標(※2)	
	法人	個人	経営面積(ha)				
江津	16	7	9	66	20.4%	324	36%
桜江	8	4	4	75	29.5%	254	42%
	24	11	13	141	24.3%	578	

(※1) 認定農業者、認定新規就農者等

(※2) 農業経営基盤の強化に関する基本的な構想に掲げる目標値

(3) 本市の集落への話し合いの参加実績について

地区名	内容
江津	・A集落の今後の農地保全のあり方ワークショップ ・M集落のほ場整備を契機とした担い手への農地集積
桜江	・k集落の耕作者のリタイアを契機とした農地保全 ・k集落の小規模土地改良事業を契機とした農地集積

(2) 人・農地プラン作成経過

- ・平成24年
アンケート調査の実施
- ・平成24年～25年
桜江地区今田、江津地区川平の2プラン
- ・平成26年～平成30年
江津地区、桜江地区の2プラン
(全市で担い手をカバー)

・人・農地プランの国庫補助事業の要件化とともに、本来の趣旨である“集落の話し合い”がなおざりになってしまった感が...

2 令和元年度人・農地プランの実質化の進め方

(1) 江津市人・農地プラン推進チームの設置

機関名	内容
江津市	・事業実施主体 ・プランの最終チェック 等
江津市農業委員会	・話し合いの活性化 ・地図情報の提供 等
農地中間管理機構 (しまね農業振興公社)	・農地集積・集約化 ・農地中間管理事業の活用 等

【備考】

- ・設置年 令和元年10月
- ・集落のアンケート結果・ニーズ等を踏まえ、JA、島根県、土地改良区等の助言、話し合いへの参画を依頼

2 令和元年度人・農地プランの実質化の進め方

(2) 人・農地プランの作成・話合いの単位について

【設定にあたっての基本的な考え方】

・次の農地を対象に、江津市農業委員・農地最適化利用推進委員へのヒアリング等を踏まえ設定

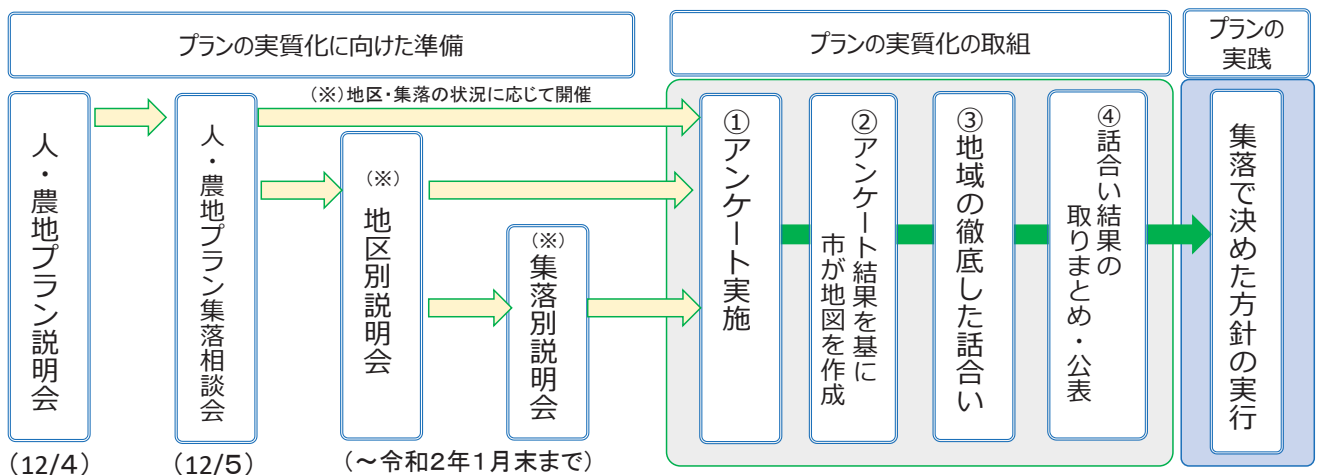
- ① **ほ場整備**を実施した農地
- ② 日本型直接支払制度の対象農地(中山間直払交付金、多面的機能支払交付金)
- ③ その他**守るべき農地**

地区数		集落数	面積(ha)	備考	
20		42	474	市資料1-2 位置図をご 覧ください	
内	江津	15	23		274
訳	桜江	5	19		200

5

2 令和元年度人・農地プランの実質化の進め方

(3) 実施化に向けたスケジュール(令和元年12月~令和2年3月)



集落名	実質化に向けた取組み
都治	令和2年4月~
本郷・反坂・二川	~令和3年3月 令和3年4月~
その他(40集落)	地区・集落の状況に応じて取組みを進展 令和2年4月~令和3年3月 令和3年4月~

2 令和元年度人・農地プランの実質化の進め方

(4) アンケート調査について

◎趣旨

- ・集落の農地、そして集落をどのように守っていくのかという観点で、「人・農地プラン」の作成に向けた集落の現状把握と今後の検討・話し合いに向けた基礎データとします

○対象者

- ・耕作者等

○目標回答率

- ・回答いただいた耕作者等の耕作面積が対象集落内の遊休農地を除く農地の少なくとも過半を占める

→ 回答率を高めるため、アンケートの配布・回収を集落でお願いいたします。

アンケート表紙下部

アンケートのご提出期限・ご提出先について

提出期限 令和 年 月 日までに ← ①提出期限を記載
あなたの集落の次の担当者にご提出願います

提出先 集落名 ②集落名を記載 担当者 ③配布・回収を行っていた方の氏名等を記載

2 令和元年度人・農地プランの実質化の進め方

(4) アンケート調査について

お手元のアンケート用紙をお開きいただき、併せてご覧ください

設問	内容	ねらい
	農業者氏名	氏名を記載
問1	年齢	集落の耕作者等の年齢構成の現状把握
問2	後継者	集落の耕作者等の後継者の有無についての現状把握
問3	人材確保	共同活動等が困難になる中、集落の外部人材の受入れ意向を把握
問4	ほ場整備	効率的な営農の実現に向けて、集落の圃場整備の意向を把握
問5	作物栽培	集落内での作物の集約化・集団化の可能性等を把握
問6	鳥獣対策	集落ぐるみでの鳥獣対策が求められる中で、その意向を把握
問7	方向性	集落の農地保全・担い手確保の方向性を把握
問8	自由意見	自由意見を記載
一部地域	洪水対策	頻発する洪水での被害に関して、その対策の自由意見を記載

2 令和元年度人・農地プランの実質化の進め方

(5) 人・農地プラン集落相談会(12/5(木))について

地区名	時間	場所	担当者
江津市東部	9:00～12:00	都治地域コミュニティセンター	野村、多幾
江津市中部	13:00～17:00	江津市役所分庁舎会議室	野村、多幾
江津市西部	18:30～19:30	二宮地域コミュニティセンター	野村、多幾
江津市桜江	9:00～19:30	桜江総合センター研修室	山本、柳光

【相談内容】 集落の話合い・アンケート実施に向けた作戦会議

- ・集落の話合いのエリア(農地)・農業者の状況等について
- ・アンケート調査の実施について(アンケート用紙・封筒の配布可能です) 等の

・桜江地区の集落の方は桜江会場にご参加ください。

・ご都合の悪い集落は別途日程調整の上、設定させていただきます。(TEL:0855-52-7493)

3 人・農地プランの推進にあたって

(1) “きっかけ”を活かす

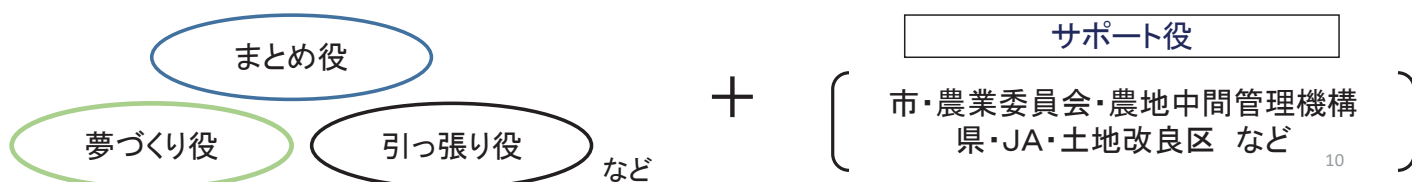
“きっかけ”を活かして、集落の農地・農業を考えませんか？

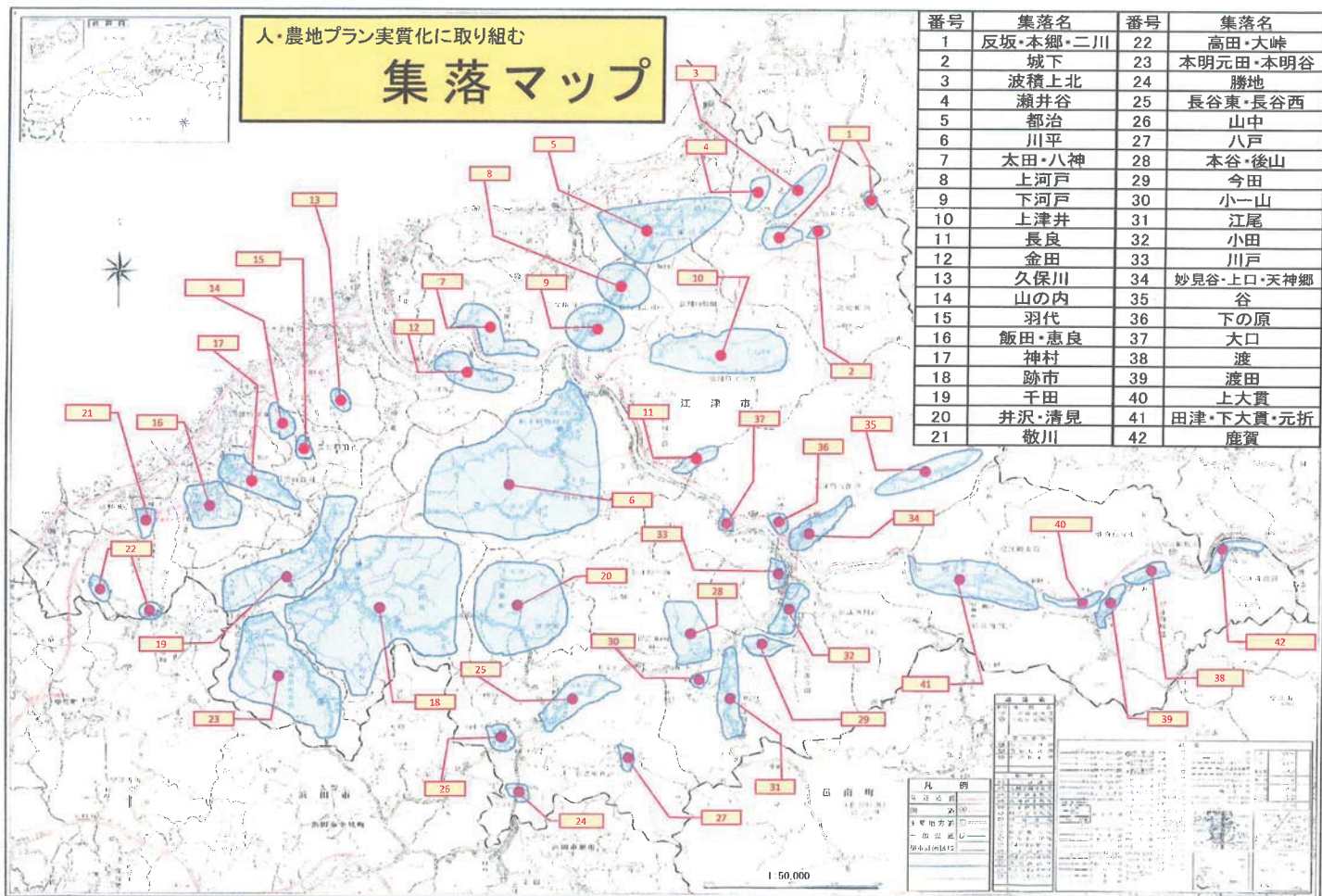
【“きっかけ”の例】

- ①集落内に農業を辞める人がでた・・・
- ②集落内に高齢化等で農作業ができない人がいる・・・
- ③ほ場整備して、効率的な農業がしたい・・・
- ④将来の農業や集落維持が不安・・・
- ⑤人・農地プランの実質化・・・

(2) 集落のリーダーとサポート体制

集落での話合いを進めるためには、リーダーの役割が重要です。一人で考え込んで、重荷に感じるのではなく、複数の人が協力してリーダーの役割を果たしていけば良いと考えます。





江津市農業の将来に関するアンケート調査のお願い

江津市農林水産課
課長 土崎 一雄

本市の農業をめぐる状況を見ると、農業者の高齢化、担い手不足、耕作放棄地の増加などで5年後、10年後の展望が描けない集落が増えています。

こうした中で、国では、どのような担い手を中心となり、どうやって農地を守っていくのかといった集落の抱える「人と農地の課題」について、集落内での話し合いによる解決に向け「人・農地プラン」の作成を求めています。

そこで、本市では、農業者の皆様から今後の営農意向等について、幅広く意見を伺い、集落の実態把握と「人・農地プラン」の作成に向けた事前検討を行うため、アンケート調査を実施することといたしました。

つきましては、ご多忙中のこととは存じますが、本調査にご協力いただきますようお願いいたします。

アンケートのご提出期限・ご提出先について

提出期限

令和 年 月 日 までに
あなたの集落の次の担当者にご提出願います

提出先

集落名

担当者

※アンケートは、次ページから始まります。

<お問い合わせ先>

江津市 農林水産課 農業振興係 山本、岡本 / 農政係 多幾、柳光
〒695-8501 江津市江津町 1525 番地 TEL.0855-52-7493 FAX.0855-52-1365

<あなたの集落の農業の将来に関するアンケート調査>

アンケート記入者のご氏名をご記入ください。

農業者氏名	
-------	--

以下、アンケート項目です。8つの項目についてご回答ください。

※アンケートは裏面にもございます。

問1 あなたの年齢について教えてください。
(該当する回答欄に「○」を付けてください。)

①50歳 以下	②50歳～ 54歳	③55歳～ 59歳	④60歳～ 64歳	⑤65歳～ 69歳	⑥70歳～ 74歳	⑦75歳 以上
------------	--------------	--------------	--------------	--------------	--------------	------------

問2 あなたの農業の後継ぎについて教えてください。
(該当する回答欄に「○」を付けてください。)

①後継者の目処はついている	②後継者の目処はついていない
---------------	----------------

問3 あなたの集落において、今後、集落外から人材を確保する必要があると考えますか？
(該当する番号に「○」を付けてください。)

①必要である	②わからない	③必要ない
--------	--------	-------

問4 あなたの集落の農地について、今後、ほ場整備等の基盤整備が必要と考えますか？
(該当する番号に「○」を付けてください。)

①必要である	②わからない	③必要ない
--------	--------	-------

問5 あなたの現状及び今後の作物栽培の意向について教えてください。
 (該当するものに「○」を付けてください。)

作物区分	現在の作付状況	今後の作付意向
(記入例) 水稲	<input checked="" type="radio"/> ない	拡大 <input checked="" type="radio"/> 縮小 ・ 現状維持 ・ 新規 ・ 不明
水稲	ある・ない	拡大 ・ 縮小 ・ 現状維持 ・ 新規 ・ 不明
大豆	ある・ない	拡大 ・ 縮小 ・ 現状維持 ・ 新規 ・ 不明
飼料作物	ある・ない	拡大 ・ 縮小 ・ 現状維持 ・ 新規 ・ 不明
野菜(産直向け)	ある・ない	拡大 ・ 縮小 ・ 現状維持 ・ 新規 ・ 不明
野菜(JA等出荷)	ある・ない	拡大 ・ 縮小 ・ 現状維持 ・ 新規 ・ 不明
花き	ある・ない	拡大 ・ 縮小 ・ 現状維持 ・ 新規 ・ 不明
果樹	ある・ない	拡大 ・ 縮小 ・ 現状維持 ・ 新規 ・ 不明
その他 ()	ある・ない	拡大 ・ 縮小 ・ 現状維持 ・ 新規 ・ 不明

問6 あなたの集落で鳥獣の被害防止対策を実施していくためには、今後どうしたらよいと考えますか？(該当する番号に「○」を付けてください。【複数回答可】)

①集落全体を囲う防護柵を設置し、鳥獣の侵入防止を図る	②個別に防護柵を設置し、鳥獣の侵入防止を図る
③放置果樹の撤去や獣の隠れ場所になる耕作放棄地等を解消する	④追い払い対策等により集落に鳥獣を寄せ付けにくい環境づくりを進める
⑤その他 ()	

問7 あなたの集落の農業を維持、発展していくためには、今後どうしたらよいと考えますか？
 (該当する番号に「○」を付けてください。)

① 既存の担い手に農地を集積し、集落の農地を守っていく	②自分たちの力で集落営農組織の設立等を進めていく
② 近隣の担い手(集落営農組織等)と協力し、集落の農地を守っていく	④Uターン者や新規就農者等の新たな担い手を取り込み、集落全体で支えながら農地を守っていく
⑤その他 ()	

問8 今後のあなたの集落や本市の農業振興全般に向けて、ご意見があれば記入願います。

アンケートにご協力いただきありがとうございました。
 所定の封筒にアンケート用紙を入れて、集落の担当者までご提出願います。
 *このアンケートは調査目的以外には使用しません。

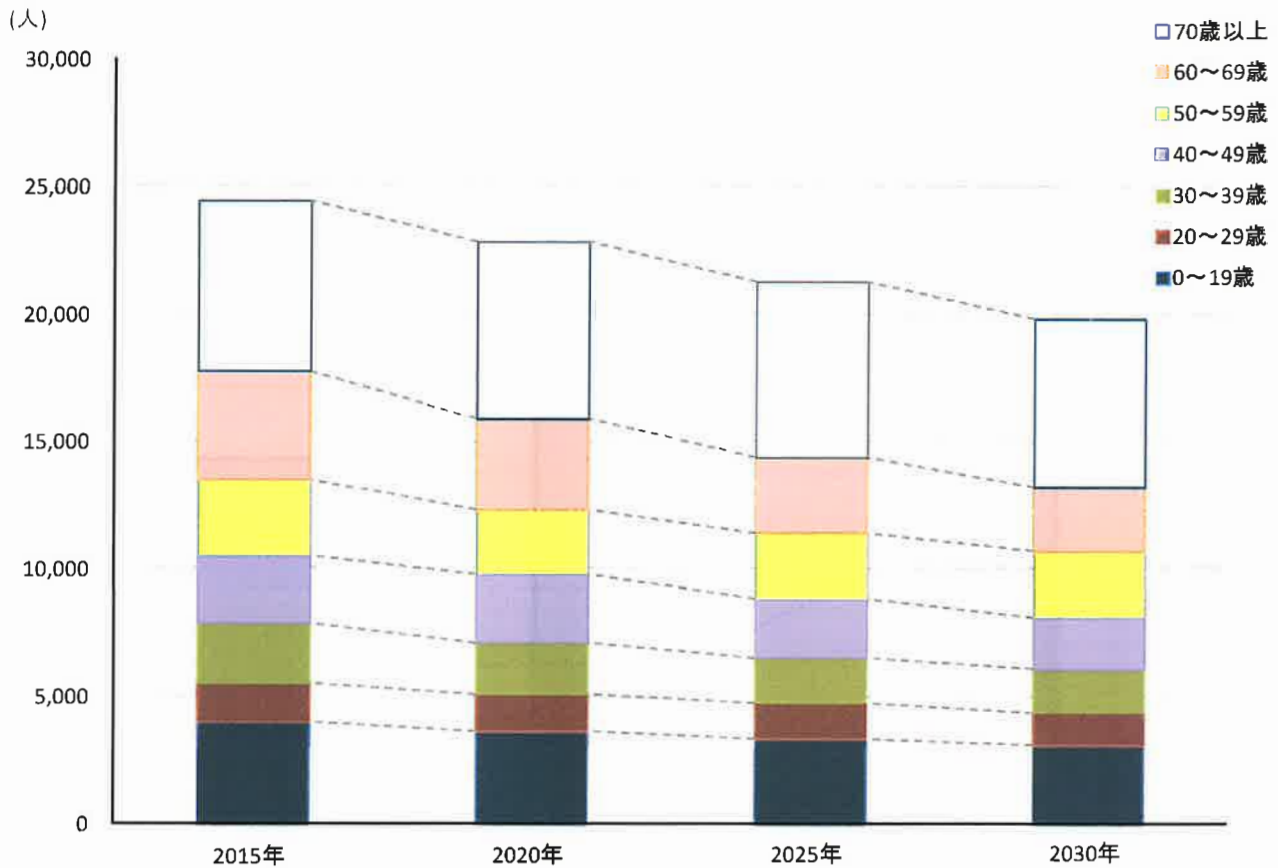
江津市の将来推計人口・農業就業人口の推移

中国四国農政局
島根県拠点

1-2 旧江津市の国勢調査人口と将来推計人口

単位：人

区分	0～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計
2015年	3,648	1,374	2,164	2,348	2,680	3,776	5,799	21,789
2020年	3,350	1,331	1,876	2,403	2,255	3,186	6,097	20,498
2025年	3,071	1,303	1,670	2,098	2,313	2,644	6,097	19,196
2030年	2,873	1,172	1,634	1,835	2,369	2,237	5,838	17,958



年齢区別の構成比

単位：%

区分	0～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計
2015年	16.7	6.3	9.9	10.8	12.3	17.3	26.6	100.0
2020年	16.3	6.5	9.2	11.7	11.0	15.5	29.7	100.0
2025年	16.0	6.8	8.7	10.9	12.0	13.8	31.8	100.0
2030年	16.0	6.5	9.1	10.2	13.2	12.5	32.5	100.0

年次ごとの前回対比

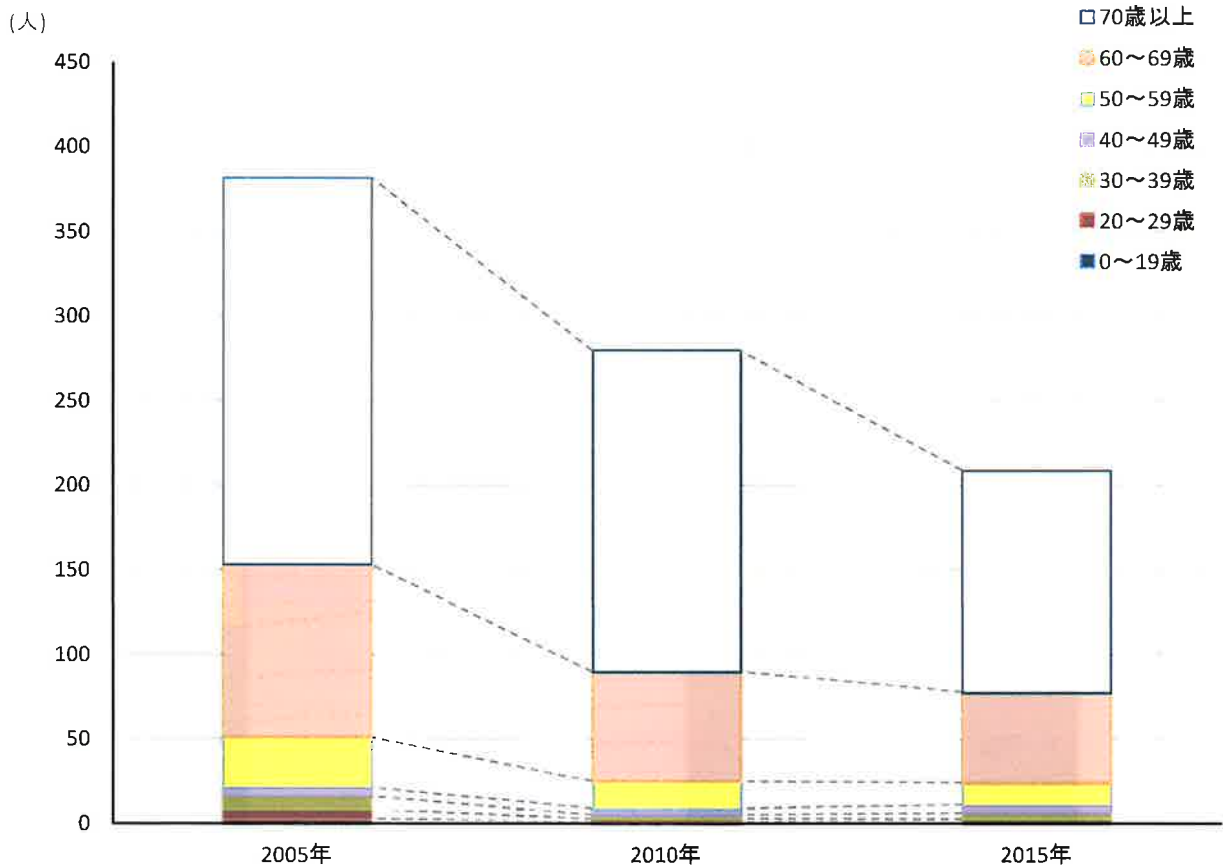
区分	0～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計
2020年/2015年	91.8	96.9	86.7	102.3	84.1	84.4	105.1	94.1
2025年/2020年	91.7	97.9	89.0	87.3	102.6	83.0	100.0	93.6
2030年/2025年	93.6	89.9	97.8	87.5	102.4	84.6	95.8	93.6

資料：【農林水産省ホームページ】統計情報＞地域の農業を見て・知って・活かすDB

2-2 旧江津市の農業就業人口

単位：人

区 分	0～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合 計
2005年	3	5	8	5	30	102	229	382
2010年	1	2	2	4	16	65	190	280
2015年	2	1	3	5	13	54	131	209



年齢別の構成比

単位：%

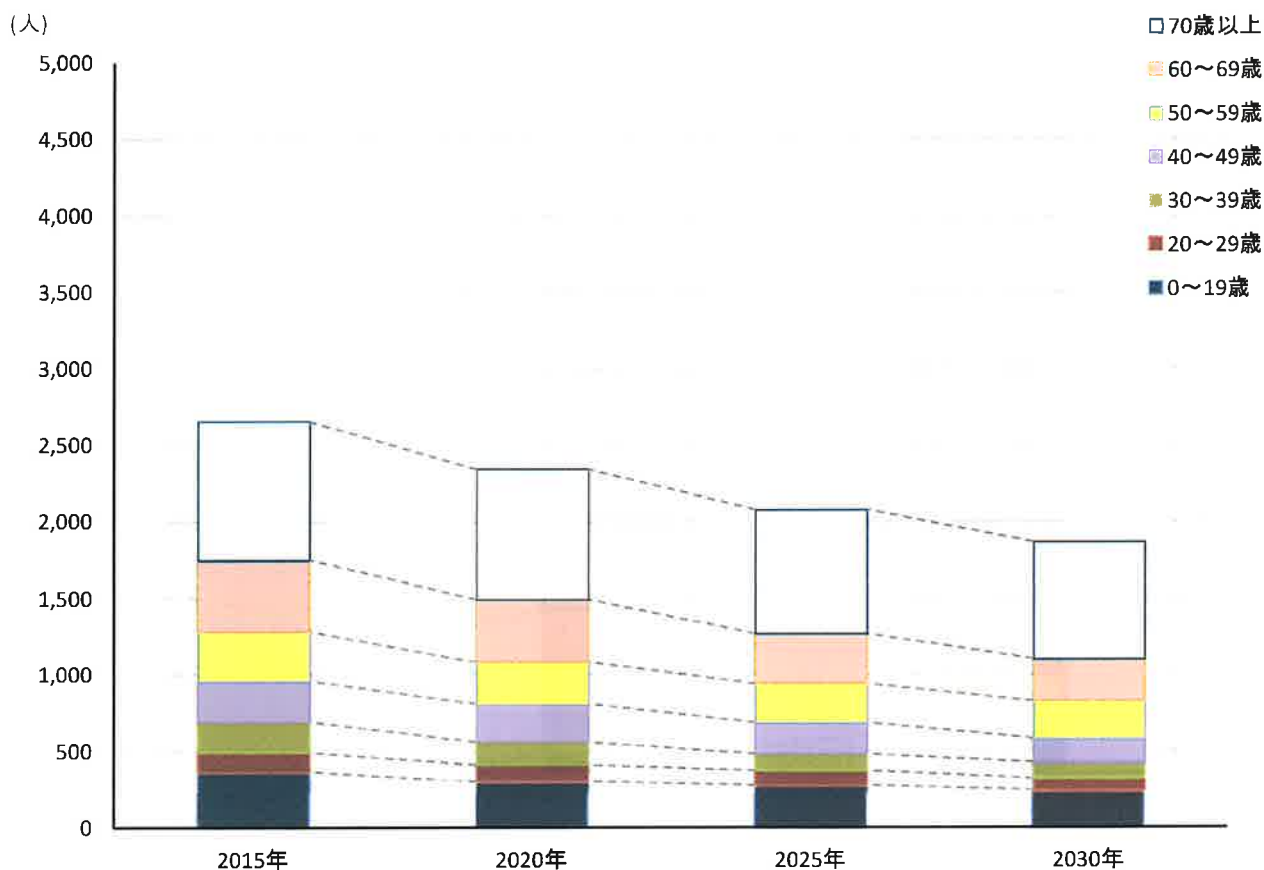
区 分	0～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合 計
2005年	0.8	1.3	2.1	1.3	7.9	26.7	59.9	100.0
2010年	0.4	0.7	0.7	1.4	5.7	23.2	67.9	100.0
2015年	1.0	0.5	1.4	2.4	6.2	25.8	62.7	100.0

資料：【農林水産省ホームページ】統計情報>「地域の農業を見て・知って・活かすDB」より

1-3 旧桜江町の国勢調査人口と将来推計人口

単位：人

区分	0～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計
2015年	368	122	203	267	325	469	904	2,658
2020年	303	110	148	250	276	412	847	2,346
2025年	278	99	104	208	254	328	810	2,081
2030年	246	80	102	157	244	279	761	1,869



年齢区分別の構成比

単位：%

区分	0～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計
2015年	13.8	4.6	7.6	10.0	12.2	17.6	34.0	100.0
2020年	12.9	4.7	6.3	10.7	11.8	17.6	36.1	100.0
2025年	13.4	4.8	5.0	10.0	12.2	15.8	38.9	100.0
2030年	13.2	4.3	5.5	8.4	13.1	14.9	40.7	100.0

年次ごとの前対比

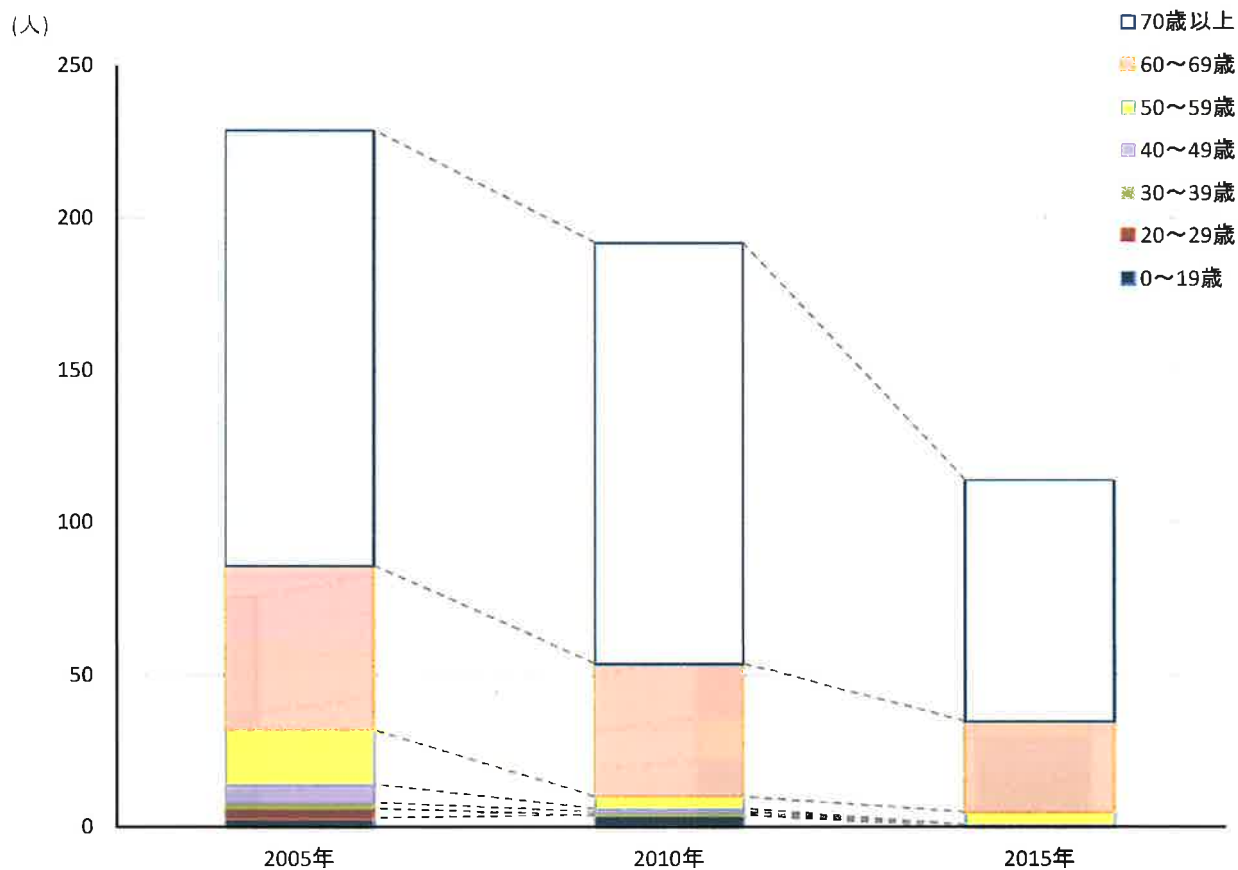
区分	0～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計
2020年/2015年	82.3	90.2	72.9	93.6	84.9	87.8	93.7	88.3
2025年/2020年	91.7	90.0	70.3	83.2	92.0	79.6	95.6	88.7
2030年/2025年	88.5	80.8	98.1	75.5	96.1	85.1	94.0	89.8

資料：【農林水産省ホームページ】統計情報＞地域の農業を見て・知って・活かすDB

2-3 旧桜江町の農業就業人口

単位:人

区 分	0～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合 計
2005年	3	3	2	6	18	54	143	229
2010年	4	0	1	1	4	44	138	192
2015年	0	1	0	0	4	30	79	114



年齢別の構成比

単位:%

区 分	0～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合 計
2005年	1.3	1.3	0.9	2.6	7.9	23.6	62.4	100.0
2010年	2.1	0.0	0.5	0.5	2.1	22.9	71.9	100.0
2015年	0.0	0.9	0.0	0.0	3.5	26.3	69.3	100.0

資料:【農林水産省ホームページ】統計情報>「地域の農業を見て・知って・活かすDB」より